

領収書内訳書

様

平成 年 月 日付領収書の内訳等については、以下のとおりです。

1 販売事業者 (領収書発行者)

会社名 代表者役職・氏名		代表者印	
住所	〒		
担当者所属・氏名			
電話番号		FAX 番号	

2 工事完了日

工事完了日 (注 1)	平成 年 月 日
-------------	----------

(注 1) 平成 26 年 4 月 1 日以降の場合が補助対象となる。完了日は実際に工事が完了した日とする (支払完了日や竣工検査実施日ではない)。

3 内訳書

補助対象経費 { (A) + (B) + (C) } = ( ) 円

← <合計>

(補助金額は、補助対象経費の合計額 × 1/10 (千円未満は切り捨て) 又は 10 万円のいずれか小さい額)

項目	金額 (注 3)	備考 (注 4)
1. 建物工事費 (注 1)	円	
2. 強制循環型太陽熱利用設備関連費		
本体機器 (集熱器・蓄熱槽)	(A) 円	
付帯機器 (注 2)	(B) 円	
据付工事費 (補助熱源までの配管含む)	(C) 円	
補助熱源装置機器費	円	
補助熱源装置据付工事費	円	
その他経費 ( )	円	
小 計	円	
消費税	円	
合 計 (注 5)	円	

(注 1) 建物の本工事に関する経費を、2.強制循環型太陽熱利用設備関連費を除いて記入すること。

(注 2) 付帯機器は、強制循環型太陽熱利用設備に係る架台、湯水混合ユニット、給湯加圧ポンプ、三方弁、減圧弁などを指す。

(注 3) 該当のない項目は金額を記入する必要はない。

(注 4) 他の項目と一括の金額の場合は備考欄にその旨を記入すること。

(注 5) 領収書の合計金額と合致していることを確認すること。